

もり
〈森林でのお仕事紹介コーナー〉 (農林水産省林野庁)
 りんやちよう

国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



木曾福島森林事務所

首席森林官 古畑 正弘

木曾福島森林事務所は、木曾谷の中心地に位置する木曾町福島にあり、管轄する区域は、木曾町のうち旧木曾福島町、旧日義村、旧三岳村の国有林約七、七〇〇畝です。



駒ヶ岳山頂からの御嶽山 (正面奥)

管内は、木曾町福島の里山である城山国有林(標高八〇〇メートル)から、木曾駒ヶ岳(標高二、九五六メートル)、御嶽山(標高三、〇六三メートル)と変化に富んだ山々であると同時に、木曾森林管

理署管内では珍しく小面積の国有林が十二箇所点在しています。

管内にある御嶽山の裾野に広がる



御木美林

る油木美林は、かつて尾張藩の御神木として守られてきました。樹齢三百年を超える大木が生い茂る森には、遊歩道が整備されており、不易の滝・こもればの滝や百間滝などを眺めながら御嶽山の七合目まで続いています。御嶽山が育んだ水や緑に触れながら森林浴・バードウォッチングなどを満喫することができます。

御嶽山は、三岳口(ロープウェイ)、王滝口、開田口の三箇所の登山ルートが整備されており、登山者や観光客が多く訪れます。このため、七月から十月までの観光客が多数訪れる時期は、グリーンサポートスタッフ(GSS)を活用した高山植物保護パトロールを実施しています。活動内容は、立

入禁止地区へ入り込む人への指導、ゴミ等の回収、高山植物の説明等を行っています。以前と比べると観光客のマナーが良くなりモラルも向上していると思います。が、少数ですが立入禁止区域に入り込む人もいることから継続していく必要があると考えています。今年、噴火により立入規制されていた頂上までのルートが、九月二十六日から十月八日までの間規制解除され、多数の登山者が訪れ頂上までが渋滞するほどでした。

木曾町と上松町の境界にそびえる木曾駒ヶ岳のパトロールは、高山植物保護、登山道整備、貸付地(登山道)確認等のため駒ヶ岳森林事務所と合同で行っています。パトロール

を機に登山道の安全確保に努めているところ

です。当森林事務所の職員は森林官一



御嶽山 二の池

人の体制で、生産・造林請負事業の監督、境界巡検、各種調査や巡視などの業務を、隣接する森林事務所職員とも連携し行っています。

これからの季節は寒暖差や気候条件が厳しくなることから安全対策を万全に、署、関係機関、地域住民と連携をとりながら無事故・無災害で業務を進めていきたいと考えています。

■未来の担い手へのメッセージ

日々現場を歩きながら、この先何十年もの森林の姿を想像しながら次世代につながる森林づくりにも少しでも貢献していることにやりがいを感じています。一緒に林業を盛り上げていきましょう。



駒ヶ岳をパトロール中の筆者

もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



信州上小森林組合

西入 慎也

(二〇〇九年入社)



かわいくガッツポーズ
「がんばるぞ！」(西入りさん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業
業（保育間伐活用型
ほか 北山）

発注者・東信森林管理署

当地域はカラマツ発祥の地域であり、本契約も生産材積の九割がカラマツで、特に育成受光伐一八・一二鉢一、二四〇立方は

林齢九十五年を超えており、「信州プレミアムカラマツ」（規格林齢八十年以上 径級三〇センチ以上の良質材）の生産に貢献することができました。

本事業を効率よくまた適期に実施するため、エリアを区分け事業種分けし、五班（一班四〜七人）で安全作業に努め、事業を進めています。

■現場での役割・魅力

現在は国有林の活用型保育間伐事業に取り組んでいます。面積が広く予定出材数量も多いため五人の班員全員で、無災害で工期までに無事に終わらせるという目標をもって日々従事しているところです。

組合では、支所ごとに四〜七人の班で編成されており、その班で一つの現場に入り、仕事をするシステムになっています。私は今年の二月から班長を任され、日々悪戦苦闘



班長中心に作業前の指差し呼称
「ゼロ災でいこうヨシ！」

しながらも、気の合った仲間と毎日楽しく仕事をしています。また、一人では辛く厳しい時も、仲間がいるので乗り越えることができます。一つの現場を班全員で協力して、一つの目標に向かっていくのでやりがいも生まれます。

今、林業への関心が高まっているにも関わらず、収入が決して多くはないこの業界にあつて、私はまあまあ納得の所得があり、組合にはここ数年若い人が入ってきています。森林組合、地域が活性化し、産業界が疲弊している林業の活性化に繋がっていけば良いと思います。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ
働いていた自動車関係の工場が、リーマンショックにより仕事量が激減し、失望した私は、新しく取り組める仕事を探していました。そんな時、学生時代に共に野球部で汗を流した大親友の申龍浩君から、勤めている森林組合のことを教えて貰い、色々話を聞いて興味を持ち、採用に応募しました。

最初の頃は、今までの部品加工とは全く違う、森林づくりという自然相手の仕事に戸惑いました。しかし、先輩方に毎日指導していただいたおかげで、現在もやりがいを感じながら無事に仕事を続けられています。この世界に入るきっかけを作ってくれた友人、今まで私に指導していただいた先輩方には感謝しています。これからも、安全作業で日々努力していきたいと思えます。

■未来の担い手へのメッセージ

かなり過酷で厳しい労働環境ですが、他の仕事にはない魅力があります。林業の中にも様々な仕事があり、危険を伴う仕事が多いですが、正しい知識と技術を身につければ安全に仕事をする事ができます。

皆さんも林業を職業にしてみたいかがでしょう。



集材木を土場に
降ろす様子

もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（林業土木）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」



国土防災技術株式会社 長野支店

伴 博史

(二〇二一年入社)



現地で観測作業を行う伴さん

事業の概要

調査業務：地すべり調査および

治山施設点検整備調

査（伊那総合治山

事業所 小塩）

発注者：中部森林管理局

長野県下伊那郡大鹿村内の「小塩」地区で地すべり調査や既存の施設の健全度評価を行っています。

「小塩」地すべりは全国でもかなり大きなサイズの地すべりで、地すべり施設以外にも昭和二十年代から谷止工などの治山施設が施工されてきた場所です。平成に入り本格的に地すべり機構解析が行われ、地すべりの安定化に向けた調査・工事が行われています。

現場での役割・魅力

現場での作業は、地すべり動態観測のために、現地に設置した計器からデータを回収し、結果をまとめていきます。同時に、現地に新たな変状がないかといったチェックも行い、観測データと合わせて地すべり解析を行っています。

今回の調査では、治山施設の点検も同時に実施し、過去に施工された施設の状況について調べていきます。「小塩」地区は、先人の方々が地すべりを止めるため様々な施設を計画・施工しており、いまでも地すべりの安定化に寄与しています。調査という形ではあり

ますが、こういった色々な施設を見られることは現場作業を行う上での魅力の一つだと思います。

林業土木の世界に入ったきっかけ

私は大学から長野県に来ており、森林について学んでいました。大学時代の学びを活かしてといえは聞こえは良いですが、気づけば就職も森林や防災に関わる仕事についていました。

森林に関わると必然的に外に出る作業が多く、外で何かをすることの方が好きだったことが大きいかもしれません。と言いつつも、工期が近づくと内業が増えるのはこの業界の定めですが。



排水トンネル内の状況
(集水井からの排水)

未来の担い手へのメッセージ

まだ私自身若いつもりでいますが、森林業界（土木含め）としては若手の育成が大きな課題と思

ます。やはり、危険・きつい・きかないといったイメージは未だに強いかもしれませんが。とは言ってもやってみると楽しい部分もあります。

森林に関わる仕事は、普段の生活では目に見えない部分も大きいですが、適切な施業や土木工事によって山を安定させていることで下流の安心・安全に繋がっています。そういった視点で調査に臨みたいものです。



現地踏査に向かう様子（筆者ほか若手社員）